



二小だより

土浦市立土浦第二小学校

2012.1.13

<http://www.tsuchiura.ed.jp/~nisho/>



校長室の窓から

2012年の幕開けです。

19日間という長い冬休みでしたが、今年は家族で穏やかなお正月を迎えられたご家庭が多いのではないのでしょうか。今年、辰年。十二支の中で唯一架空の動物だそうです。神聖な動物で、縁起のよい昇り竜でも知られています。新聞記事によると、日頃使う漢字で「竜」に関係したものに「九」があり、「九」は身を折り曲げた竜の形だそうです。「研究」の「究」は、「穴」の中に竜のように身を折り曲げて入り込み、すみずみまで「きわめつくす」意味です。「辰」は大きなハマグリが足を出して動いている姿です。だから、「辰」を含む字には「動く」意味を持つ漢

字がたくさんあります。「蜃気楼」「妊娠」「振幅」「口唇」「震動」などなど。辰年らしく、子どもたちにとって、「このときに何が必要か」「何が大切なのか」「どのような手立てが有効か」を常に考え、心を揺さぶりながら、積極的に動き、究めていきたい、そして、子どもたちとともに成長したい（昇りたい）と私たち教職員は思っています。

また、初心に戻ることも大切で、今年度目指す児童像をもう一度確認しあいました。

④ つうのこと（当たり前のことのできる）子

「あいさつ・返事をする」「自分のことは自分です」「学校・社会のルールを守る」など。保護者対象の学校教育に関する評価にもありましたが、校内でできる返事やあいさつが、校外（立哨していただいている方など）ではできない子がたくさんいます。ダメってわかっているのに、「清掃中しゃべってしまう、危ない自転車の乗り方をする」などルールを守れない子どももいます。当たり前のことのできるように、もう一度声かけをしていきたいと考えています。

⑤ じぶんの考えや思いが表現できる子

学習においては、ノートを大切にすることを指導してきました。自分の考えを書く、友達のよい考えを書くなど、上級生になるにつれ、自分独自のノートが作れるように励ましてきました。また、人に流されず、「それはいけないことだと思うよ」と自分の思いをきちんと相手に伝えることを大切にしてきました。それは、いじめを許さずまじめに物事に取り組んでいる子どもたちにとって、生活しやすい学校にするためです。人それぞれ性格は違いますが、自分の思いや考えをきちんと伝えられるよう支援していきたいと思っています。

⑥ よい身体と心をもった子

健康な身体、そして健康を保持するために自分の体調を整える力は生涯大切なものです。また、身体だけでなく「やり抜く気持ち」「我慢する気持ち」などつよい心も育てていきたいと思っています。体力・気力は何をやるにも必要です。

⑦ かんどうする心をもった子

いいものに出会ったとき、友達や先生のすごさを認めるとき、素直に感動する心を持ってほしいと思います。「素直さ」は心を豊かにするだけでなく、学力の向上も図ってくれます。目を輝かせている子どもたちであってほしいと願っています。

各学年のまとめをするとともに「ふ・じ・つ・か」の子どもを目指して、先生方は「攻め」の姿勢で行っていきます。

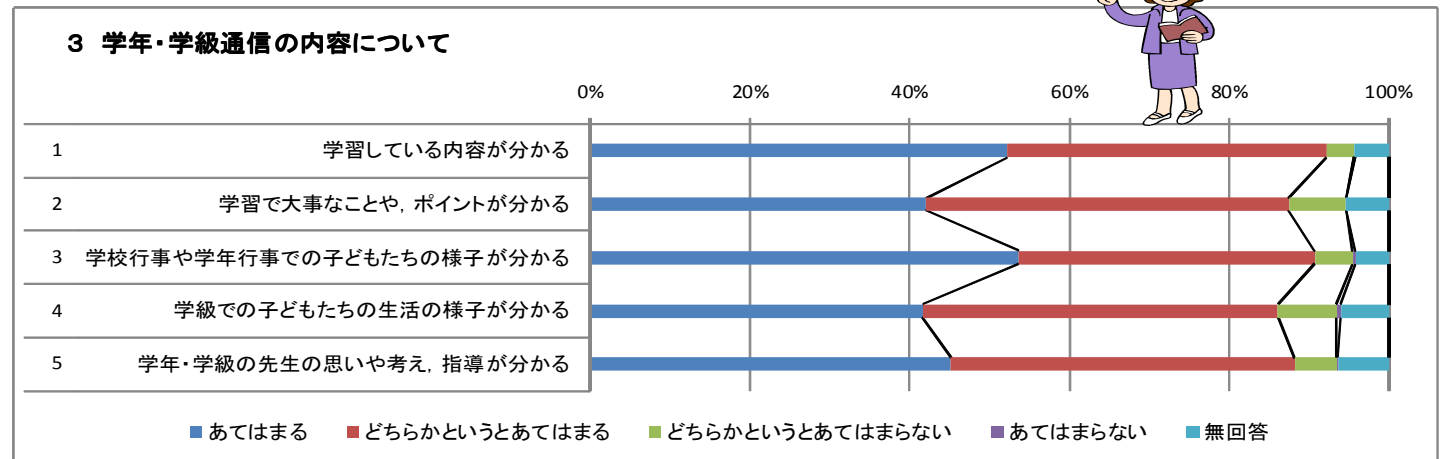
子どもたちにもその意気を感じ取ってもらい、学習や行事に積極的に取り組んでほしいものです。

特に6年生は、特別の意味を持つ3学期。自分の納得がいくような学期になるように切に願っています。



平成23年度 学校教育に関する評価（保護者対象）

たくさんの保護者のみなさまにご協力いただきありがとうございました。昨年度とあまり大きな差はありませんでした。今年度、学年・学級通信についての項目を増やしました。なぜなら、各通信の内容を変え、学習内容や子どもたちのようす、先生方の思いや考えを入れたからです。その結果が下の表です。



変更した内容について、保護者のみなさまのご理解を得ている結果となりました。

ただ、昨年度と同様

「学び方ガイド」の活用が停滞しており、家庭学習の定着が図れていない。

といった状況にあります。

小学校時代に、「授業の受け方」「家庭学習の習慣化」「自主学習の進め方」を身につける必要があります。

これらのことは、必ず中学校で役立つことであり、学校生活を終了した後でも、必要なことです。

もう一度、学校・各家庭で子どもたちとともに「学び方ガイド」を読み返したいと思えます。

放射能に関する意見もありました。

公表の仕方、安全性など……。

学校単独で判断できることだけではないので、これからも、測定を定期的に行いながら安全性を確かめていきたいと思っています。

この問題は、長期間かかります。私たちも常に念頭にあり、気がかりなことです。

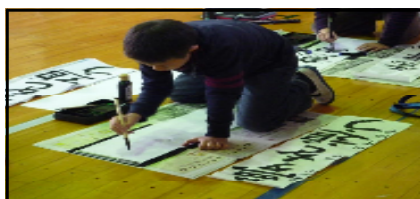
ご理解いただければと思います。

また、「二小だより」の文字が多く読みづらいとのご意見もありました。一生懸命読んでいただいている結果のご意見だと思います。紙一枚におさめることの難しさを感じています。月1回の校長からの便りだと思い、ご容赦いただければと思います。

記名式にもかかわらず、たくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

今年度も少数でしたが、「無記名にしてもらえないか」というご意見もございました。やはり、学校と家庭は、「無記名でしか言えない」関係ではなく、「記名しても言える」関係でありたいと思っています。

5年生の書き初め大会



「夢を追う」



寒さを感じさせない子どもたち



「自主学習」